

麻疹(はしか)にご用心！

今年も成人麻疹(15才以上)が発生しています。石川県では、1月から5月現在までに9名の患者が発生しています。(小児は1名のみ)

麻疹は麻疹ウイルスによって引き起こされる感染症で、発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状と発疹が現れます。肺炎、脳炎といった重い合併症を発症することもあります。

感染経路は空気感染、飛沫感染が主で、免疫を持っていない人が感染すると90%以上が発症します。(現在の小学2年生以上は、ワクチン接種の機会が1回しかなかったため、免疫力が落ちていると考えられています。)

従来小児期に感染することが多かったのですが、最近は10代、20代以上での感染が多く見られ、大学を含めて学校閉鎖が相次ぐなど、社会的な問題となっています。

平成20年4月から、新たに中学1年生・高校3年生相当の人の定期予防接種がはじまりました。3年生は、市町村から接種券が配付され、すでに接種済みの方もいます。金沢市は5月28日に配付予定です。麻疹に罹ったことがなく、予防接種も未接種か過去に1回しか接種していない人は、予防接種を受けることをお勧めします。

「はしか」の症状について

- ・空気感染・飛沫感染であり感染力が大変強い。
- ・感染後の潜伏期間は10～12日であり、その後に発生する。
- ・38 ぐらいまで発熱し、その後熱が下がるが、また高熱が出るようになる。
- ・症状としては風邪によく似ているので間違いやすい。
- ・咳が出て発熱。この期間に他の人にうつす可能性が最も高い。
- ・2回目の発熱の時に顔を中心に発疹が始まり全身に広がる。
- ・ワクチン接種を行っても確率は少ないがうつる可能性がある。

秋田・北海道で高病原性鳥インフルエンザが発生！

秋田県と北海道の3カ所でハクチョウから「H5N1型」の鳥インフルエンザの発生が報告されています。文部科学省から学校において、次のような野鳥への対応等の連絡がありましたので、各自注意してください。

1. 野鳥になるべく近づかないこと。近づいた場合には、手をきちんと洗い、うがいをする。
2. 死んだ野鳥を発見した場合には、手で触らず、学校や教育委員会、獣医師、家畜保健衛生所又は保健所に連絡すること。

* 学校の玄関から時々、鳩が侵入しますが、絶対に接触しないようにしてください。

鳥インフルエンザとは

鳥類がかかるA型インフルエンザの一種で、H5N1型、H7N7型などに分類される。感染した鳥類が全身症状などの特に強い病原性を示すものを「高病原性インフルエンザ」と呼び、鶏など大量死することもある。

生きた病鳥や内臓、排泄物に接触することで、鳥から人間にも感染し、発病した場合の致死率は5割を超える。

人から人への感染はまだ確認されていないが、人間の体内などで変異して、空気感染力などをもつ新型インフルエンザになると大流行になる恐れがあり、各国政府も警戒を強めている。

ごみを減らそう

- ・ 校外から持ち込んで不要になったものは、持ち帰っていますか？ 一人の出すごみの量は少なくても、全校では大変な量になります。

混ぜないで ごみと資源

- ・ 「燃やすごみ」と「プラ」は、分別して出していますか？
- ・ 飲み物を飲んだ後、紙パックはたたく専用回収箱に出していますか？
- ・ 飲んだ後の紙コップや紙パックを置きっぱなしにいませんか？
- ・ 歩きながら、飲み物を飲んでいませんか？

ごみ集積所は、「燃やすごみ」と「プラ」のみ

- ・ ごみ集積所は、ごみなら何でも出してよいというわけではありません。ごみ集積所に出してよいのは、「燃やすごみ」と「プラ」の2種類のみです。
- ・ 「燃やさないごみ」は学務員室前に、「ペットボトル」は、自販機横の回収箱に出してください。
- ・ ごみ集積所に出して良い日は、月と木の週2回です。（その日が祝日ならば翌日になります。）
- ・ 時間は、16:10～16:30です。時間外に出すことのないようにしてください。（その日の日程により、指定の時間が変更になるときもあります。）
- ・ ごみ集積所に出す前に、分別されているか点検してください。
- ・ 袋の口は軽く結んでごみ集積所に持ってきてください。量が少ないときは、複数の袋のごみやプラを一つにまとめるためです。

トイレにごみを散らかさないで

- ・ 洗面所に使用後のティッシュが、捨てられずにそのまま置いてあることがあります。後に使う人のことも考えて、トイレはきれいに使いましょう。洗面所もきれいに使いましょう。

節電に心がけよう

- ・ 誰もいない教室・誰もいないときのトイレの蛍光灯 こまめに消してください。